

馬とのセックスが病みつきになったシャンティちゃん、  
彼女は馬たちのお嫁さんになりました♥  
365日馬小屋で暮らして  
ひたすら馬とまぐわる毎日をおくっています。



今日のお相手はこの馬、  
シャンティは物欲しそうに腰を振ってアピールしています。  
どんな激しい交尾をしてくれるのか、  
期待に胸がはち切れそうなシャンティなのです。

「あま...あま...」  
「あま...あま...」  
「あま...あま...」

!?

キキ

キキ

ムツ

おま

アアア

...



馬の太いペニスがゆっくりとシャンティの  
アナルに飲み込まれて行きます。  
使い込まれたアナルはスムーズに  
馬のモノを飲み込んでいきます。  
その圧迫感にソクソクしちゃう  
シャンティです。

ボキョッ

ん  
おは  
おん



（んおおおおお…  
すげーいいいいんっ！  
やっぱり馬千んくんの最良っ！  
あたま馬鹿になっすんぞ。ちんぽ）





んはああ!!?

ピキッ

パキ

ドギョウ

ドギョウ!!?



ジャンティのお尻の穴は馬のペニスをしっかりくわえ込んで離しません。引き抜く動作に合わせて脱肛してしまいましたね。なんていやらしい穴なんでしょうか。

めしゅわッ  
おおしりッ

トモロ...

「お、お尻の穴がめしゅわッ...お尻がめしゅわッ...  
あ、あがあああああッ...  
ほひいいいいいいいいいいいいいい...  
んぎいあああああああああああッ...」



一旦途中まで引き抜かれたペニスは再び打ち込まれます。  
前よりも更に力強く、深く。  
骨が軋み、内臓がすりつぶされますが  
その痛みもシャンディにはこの上ない快楽となります。







これまでで最も強い一撃、  
なんとシャンティの喉元までぼくっさ  
なってしまうました、  
さすがに苦しそうです。

「アッー」  
「アッーアッーアッーアッーアッーアッーアッーアッーアッーアッーアッー」



クッ

「ビク…ビク…ビク…ビク…ビク…」  
（体の中身がぜんぶおちんぽいになつてゐるおたいら…  
「びく…びく…おたいら…」  
（最高のおちんぽい…）



馬はさらに体重をかけ、  
シャンティの体にペニスを押し込んでいきます。  
これ以上の挿入を拒もうと全身の力を  
こめ抵抗するシャンティですが  
ゆっくり、ゆっくりと押し込まれています。



グイェイェ  
メキキ  
ゴキキ  
ギキキ  
ヒキッ

馬はさらに体重をかけます。  
苦悶に歪むシャントイの顔、  
その口が内部から広げられていきます、  
なんと、馬のペニスが体内を貫通し  
ついに先端部が喉まで達したのです。

ん  
おおお  
おおお  
おお

ゴッ

ゴッ

バキッ

ニキッ

キキ

ゴッ

ボッ

ゴッ

ゴッ

ガッ

マッ

ゴッ

ボッ





ゴッ  
おけ...  
エイ  
エイ

ゴッ  
キョ

ボ  
キ  
ッ

キョ  
キ

ゴ  
ボ  
キョ

キョ



!!  
?  
!!

ク  
ク

ク

〜  
ル  
ル

ク  
ク  
ク

ビキキ..

ク  
ク  
ク

ク  
ク  
ク

ク  
ク





